

Rizpah one of Saul's concubines

サウルの側女リツパ

2 サムエル 21:1-14

21:1 **ダビデ**の時代に、三年間引き続いて飢饉が起こった。それで、**ダビデ**は主の御顔を求めた。主は言われた。「サウルとその一族に、血の責任がある。彼がギブオン人たちを殺戮したからだ。」

21:5 彼らは王に言った。「私たちを絶ち滅ぼそうとした者、私たちを根絶やしにしてイスラエルの領土のどこにもいさせないように企んだ者、

卑しい側女 - 愛情あふれる母

21:6 その者の息子の七人を私たちに引き渡してください。私たちは 主が選ばれたサウルのギブアで、主のために彼らをさらし者にします。」王は言った。「引き渡そう。」21:7 王はサウルの子メフィボシェを惜しんだ。それは、**ダビデ**とサウルの子ヨナタンの間で主に誓った誓いのためであった。21:8 王は、アヤの娘**リツパ**がサウルに産んだ二人の息子 アルモニとメフィボ

シェテ、それに、サウルの娘メラブがメホラ人バルジライの息子アデリエルに産んだ五人の息子を取って、21:9 彼らをギブオン人の手に渡した。彼らは、この者たちを山の上で主の前に、さらし者にした。これら七人は一緒に倒れた。彼らは、刈り入れ時の初め、大麦の刈り入れの始まったころ殺された。

21:10 アヤの娘リツパは、粗布を手にとって、それを岩の上に敷いて座り、刈り入れの始まりから雨が天から彼らの上に降るときまで、昼には空の鳥が、夜には野の獣が死体に近寄らないようにした。21:11 サウルの側女アヤの娘リツパのしたことはダビデに知らされた。

21:12 ダビデは行って、サウルの骨とその息子ヨナタンの骨を、ヤベシュ・ギルアデの者たちのところから持って来た。これは、ペリシテ人がサウルをギルボアで討った日に、二人をさらし者にしたベテ・シャンの広場から、ヤベシュ・ギルアデの者たちが盗んで行ったものであった。21:13 ダビデはサウルの骨とその息子ヨナタンの骨をそこ

から携えて上った。人々は、さらし者にされた者たちの骨を集めた。21:14 彼らはサウルとその息子ヨナタンの骨を、ベニヤミンの地のツェラにあるサウルの父キシユの墓に葬り、すべて王が命じたとおりにした。その後、神はこの国の祈りに心を動かされた。

否定的に見ると...

これは悲しい話です。リツパの二人の息子は殺されてさらし者にされ、彼女のできる事は、ただその死体に鳥や獣が近づくのを追い払うことだけでした。もっと悲しい事は、その背景にあることでしょう。彼女はサウルの側女でしたが、二人の息子が生まれるまでは、その地位は召使いの女と、そう変わりはありませんでした。その後しばらくの間は、ある程度の栄養を味わったかもしれませんが、サウルが死んでダビデが王になった後(2:4)、アブネルは彼女と関係を持っていたかもしれません(3:7)。(注:これははっきりしていない)

リツパは美しい女性だったことでしょう。また、サウルの娘メラブとミカルよりも少し若かったと思われます(リツパの2人の息子が、彼女たちの5人の息子たちと一緒に殺された事からそれが伺われます)。彼女は若い時だけでなく、その何十年後でも魅力的だったに違いありません(3:7)。しかしその美しさは、彼女の人生を明るくしたとは言えませんでした。

ダビデがサウルの罪の故に、サウルの2人の息子と5人の孫を殺した事は、正しい事には見えません。しかし一連の惨事は、ダビデが原因ではありませんでした。

下の文を読み、正しいと思うものには(○)正しくないものには(X)、部分的に正しいと思うものには(△)をつけて下さい。

A	() リツパは不幸な人生を送った。
A-1	() 彼女の2人の息子は殺された。
A-2	() 彼女の信仰については何も記されていない。
A-3	() 彼女は悪い王の側女だった。
A-4	() 彼女はおそらくあまり自由がなかった。
A-5	() 彼女はアブネルと不品行を行った。(3:7-11)
A-6	() 彼女はダビデがした事で、彼を嫌った事が21:10からわかる。
A-7	() 彼女から学べる良い事は何もない。(3:7; 21:10)
B	() ダビデは嫌な仕事をした。
B-1	() 彼は罪のない者たちを殺さなければならなかった
B-2	() 彼は異邦人を喜ばせるためにイスラエル人を殺さなければならなかった。
B-3	() 罪を取り扱いながら、さらに優しくする事は難しい。
B-4	() 彼はメフィボシェテを助けることはできなかった。
B-5	() ダビデはおそらく、サウルの家族の何人かを殺す事ができて喜んだ。

肯定的に見ると...

ダビデはここに見られるように、そんなに悪かったのでしょうか？いいえ！悪かったのは、ギブオン人に対するサウルの罪でした。彼はギブオン人たちとの契約を破り、彼らを根絶やしにしようとしました(21:5)。それで主は、サウルの家の主な者たちの命をギブオン人が取る事を許されたのです。ですから、この章は、ダビデが昔のライバルであるサウルの親族7人の罪のない者たちを殺した、という内容ではありません。21:1から、その7人はギブオン人たちの殺戮に関与していた可能性もあります。

リツパに関してですが、彼女の行動は、母親の子どもに対する自然な行動以上のものだったのでしょうか？確かな事はわかりません。しかし昔の多くの古代イスラエル人は、肉体の復活を信じていました(ヨブ19:25-27, ダニエル12:2, ヨハネ11:23-25等多くの箇所)に、それがはっきりと見られます)。ですから、21:10でリツパがした事の背景にはそれがあったのかもしれませんが。彼女がした事を見て、ダビデがサウルやヨナタンをきちんと埋葬する努力をした事についても、同じ事が言えるでしょう。

下の文を読み、正しいと思うものには(○)正しくないものには(X)、部分的に正しいと思うものには(△)をつけて下さい。

C	() リツパは悪い女ではなかった。
C-1	() 彼女は息子たちに対して愛と誠実を示した。
C-2	() 彼女は無理矢理サウルの側女にさせられたのかもしれない。
C-3	() アブネルを拒むことは難しかっただろう。(3:7-8)
C-4	() 彼女はサウルの罪が贖われなければならない事を知っていた。
C-5	() ダビデは、彼女がした事に敬意を払った。(21:10-13)
C-6	() 21:10-11は彼女が肉体の復活を信じていた事を証明している。
C-7	() 彼女はおそらくサウルの罪深い行動に、公に反対した。
D	() ダビデは悪い男ではなかった。
D-1	() 彼は主を求めた。(21:1)
D-2	() サウルの罪は贖われなければならなかった。(21:3)
D-3	() ダビデではなく、サウルの罪によって飢饉が起こった。(21:1)
D-4	() ダビデは、サウルと他の者たちをきちんと葬った。
D-5	() 主は、飢饉のために祈った人々の祈りに答えられた。(21:14)

ワークシート答え

この課の学びのワークシートには、他の課のそれよりも、明らかに不正解の問答文が多くあります。まずリツパに関して言えば、彼女がダビデを嫌っていたという事は(A-6)、聖書のどこにも書いてありません。また彼女から学ぶことのできる良い事があります(A-7)。彼女が肉体の復活を信じていたかどうかはわかりませんが(C-6)、彼女は自分の家族に誠実でした。それは普通、良い事です。しかし彼女は、サウルに対して過度に従順だったかもしれませんし、それで彼の罪に反対しなかったでしょう(C-7)。

リツパとアブネルに(3:7-12)、実際に何が起こったのか、はっきりとはわかりません。彼女は正式にアブネルの妻にならなかったのでも品行を行ったのかもしれませんが(A-5)、彼女がすでにイシュボシェテの側女とされていたのだとしたら、それは姦淫です。またイシュボシェテの批判は全くの嘘だったかもしれません。どちらにしても、リツパが、サウルや(C-2, C-7)アブネル(A-4, C-3)に反対する事は難しかったでしょう。

最後に、ダビデがサウルの家族を喜んで殺した、と言える理由はどこにもありません(B-5)。彼が殺した7人の者は、たぶん無実ではなかったでしょう(B-1)。ですからダビデは、ただギブオン人を喜ばせるために(B-2)、彼らを殺したのではありませんでした。ダビデはヨナタンの息子の一人、メフィボシェテの命(B-4)を助けました。(メフィボシェテは2人いました。)

それで？

この箇所が一番否定的な事は、リツパの息子たちの死ではありませんし、またサウルの娘たちの子どもたちの死でもありません。もちろんそれは悲しい事でしたが。その原因はみな、サウルの罪と、ギブオン人に対する血に飢えた家の罪でした。ですから、その死刑執行は、主の前の正義の事でした(21:6)。そしてリツパと殺された人たちも、その事を知っていたでしょう(C-4)。私たちにははっきりとわかりませんが、そこには悔い改めもあったかもしれません。

これは、何世紀にも渡って中米のマヤ部族が実践してきた、人間の犠牲とは全く異なる、と理解する事は、重要なことです。それは、サウルの大きな罪のために起こった、イスラエルの歴史上ただ一度の出来事でした。さらにこの悲惨な出来事にもかかわらず、ダビデの正義と善行が、その中にも現われています。彼はヨナタンとの約束を守り、彼の息子を助けました(21:7)。

また人間の体、とりわけ死んだ体に対する尊厳が現わされました。21:10-11のリツパの行動、また21:12-14のダビデの行動がそれです。人間の肉体はいつの日か復活するので、尊厳をもって扱われるべきです。リツパはその事を知っていたかもしれませんが(C-6)、知らなかったかもしれません。でも、私たちは知っています。1コリント15章を見て下さい。

適用

あなたが一番重要、また必要と思われる事柄を上から選んで適用して下さい。
